

「教職スタートアップ研修会 - 教師として歩み始める皆さんへ - 」を開催

2月10日(金)、北部教育研修センターと教員養成支援センターの共催で、国頭教育事務所 比嘉幹夫主任指導主事を招聘して、北部生涯学習推進センターで「教職スタートアップ研修会」を開催いたしました。

最初にセンター長より、新年度から教職に就く学生及び臨時的任用教員に向けて、教師として歩み始める不安を期待に変えるための研修であるとの趣旨の説明があり、新学期の準備をして頑張りたいとの激励のメッセージが送られました。引き続き、学級担任を想定した「児童生徒理解と学級経営」をテーマに、講話と「えんたくん」を活用してブレインストーミングを取り入れながらグループワークによる対話や作業を進めていく研修でした。具体的な学級会の進め方や、支持的な風土をつくる学級経営について学びました。特に学生にとっては、教職経験者からの情報を得る貴重な機会にもなり、お互いの情報交換から学ぶことも多かったようです。緊張しながらも楽しい研修会となりました。

本研修は、北部教育研修センター設立時の2019年度の事業として企画・実施し、好評を博したため毎年開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため集合研修ができなくなり見送られてきました。当初は、勤務校が決まってからの3月の実施でしたが、4月から教職に就く予定の本学学生にも参加してもらおうと今年は2月の開催となりました。ただ、日程調整が難しく参加者は現役生3名、一般6名の参加でした。なお、下記の参加者のコメントから有意義な研修会になったことが分かりました。必要な研修であることを改めて認識し、次年度はオンライン参加も可能なハイブリッド講座で学生の参加者も増やしていきたいと考えております。

【研修の趣旨】

4月から教職をスタートする皆さんが、教師としての役割や基礎的素養、学級開き、保健室の雰囲気づくり等について学習する。お互いの考えを情報共有しながら、自信を持って心にゆとりを持って新学期の準備ができるようにする。

出会いは人を変え、感動は人を動かす!

相田みつお

子どもにとって最大の教育環境は**教師**である。

— 教師として歩み始める皆さんへ —

いい仕事をするためには自信が必要です。
 そのためには教養を身に付けるといい。
 教養こそ、その人の重みなのです。
 教養があれば、自然と自信が湧いてきます。
 (藤原正彦)

「**落地生根**」(仲宗根用英元教育長著)

どこに赴任してもやりがいを見出して頑張りたい。そこが皆さんの活躍の場なのです。

研修会の講師のスライドより紹介

「**児童生徒理解と学級経営**」
 ~教師として歩み始める皆さんへ~

令和5年2月10日(金)
 国頭教育事務所
 主任指導主事 比嘉 幹夫

未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

皆さんはこれから学校現場で本格的に教師生活を始めることになりますね。

ワクワクしていることと、ドキドキしていることを、
 お互いに共有しましょう。

未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

教師にとって必要な資質・能力とは...

- 立ち直る力
- やる気
- 元気
- 受容力
- 洞察力
- 忍耐力
- 包容力
- 協調性
- 感じ取る力
- 反省的実践家
- 子ども集団に合わせる力

※あくまで個人の感想です。

未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

【学級経営とは・・・】

学級・ホームルームという場において、一人一人の幼児児童生徒の成長発達が円滑かつ確実に進むように、学級・ホームルームを単位として展開される様々な教育活動の成果が上がるよう諸条件を整備し運営していくこと

平成22年3月刊行 文部科学省【生徒指導提要】より

学級で行う教育活動=学級経営

未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

受講者のコメントを紹介いたします。

●今回の教職スタートアップ研修会で得た、成果や活用策について

- ・改めて自分の目指す教師像を考えることが出来た。
学級活動では、子ども達の言葉を沢山拾うことで支持的風土へ繋がると学べました。
- ・学級経営について不安を感じていたので、今回の研修会で色々なアイデアを学ぶことが出来ました。
学級目標の立て方は非常に参考になり、参考にしたいと思います。
- ・特に学活の重要性や目的が詳しく学べて勉強になりました。学級経営や活動の仕方も学べて良かったです。
- ・現在、特別支援サポーターとして学校現場にいます。小学校教師を目指しており、比嘉先生の講話と現場をふり返り新鮮な気持ちになりました。子ども理解、子どもに寄り添う教師を目指し今日学び得たことを活かしていきます。
- ・学級開き等で活かそうなアイスブレイクや、学級での話し合いの進め方は参考にしたい。「合意形成」
- ・学級経営に当たっても学級会で生徒達からの声の拾い方が解った。どうやって伝えればいいのか、意見を聞くのかなど解らず不安があったが、グッズを使用することや尊重することなど経営方法から接し方まで幅広く学べました。
- ・児童生徒理解など、これから学校現場で教師として大切なことを改めて学ぶことができ、子どもの関わりに活かしていきたいと思いました。
- ・特活（模擬学級会）での採用されなかった子ども達への配慮（確認や声かけ）を活かしたいなと思いました。

●今回の教職スタートアップ講座で学んだこと、印象に残ったこと、感想や意見等

- ・藤原正彦さんの「良い仕事をするためには自信が必要です」という言葉にとっても考えさせられました。
自信が持てるよう常に学び続けたい。続けようと思いました。
- ・スタートのアイスブレイクは参考になりました。
- ・学級経営をどの様に行うか、とても気になっていた内容でした。
学校現場に持ち帰り、先生方の良い取組や子ども達の素敵などところをいっぱい言葉にして伝えたい。
- ・私だけでなく、これから現場に出る人、みんなが、そして指導主事の先生もはじめは不安だらけだったことを知り、自分だけが不安ではないんだと安心しました。
- ・今回の研修で学級経営のことについて聞いたことはとても勉強になりました。魅力ある学校を自分なりに考えてみると、他の方の考え方を聞く事でさらに教師としてこれからの自分に必要なことを再確認できました。
- ・担任を持ったときの不安、恐怖を感じましたがそれ以上に一つの学級を担任したとき「自分のクラスは年度末にどうなっているだろう」、「こういうクラスにしていきたいな」と考えるととても楽しみです。
- ・悩んでいることを共有することが出来て心が軽くなりました。又、子どもとの関わり方について自分なりに考えて実践していこうと思うことが出来ました。今回の研修で学んだことを活かせるようにします。グループ活動も非常に良かったです。
- ・グループワークを通して気づかされることが多くあったのでグループ活動を大切にしていきたい。
実際に学級活動の場面を軽く行うことでイメージが持てました。
- ・これまで思っていた「いじめ」の概念が変化した。大きいもののみがいじめの範囲という認識があり、相手がされたことに関してもどう思うかが重要であることを知った。現場に出た際には、小さな事でもしっかり対応していきたい。
- ・もっと沢山の研修に参加したいです。今回の研修は内容が多かったのもっと時間が欲しいと思いました。もっと沢山の話を聞きたかったです。
- ・私は年度の後半から臨任として勤務しようと思っているので、8月～9月にもう一度こうした研修があればありがたいと感じました。ありがとうございました。
- ・内容を飛ばした部分もあったので時間ももっと欲しかった。もっとこんな機会を増やしても良いかもしれません。
- ・今回の研修で現場に出る恐怖や不安があったが、それが少なくなって希望がわいてきた。もし又この様な研修があれば今回のように事例や実践を多く学びたい。

